

平成30年度研究開発評価人材育成研修（初級）実施要項

1. 趣旨・目的

研究開発評価に当たっては、評価に関する制度の理解や知識が必要であるが、大学や研究開発機関等では、評価を担当する事務職員がジョブローテーションで数年ごとに異動し、評価の経験・知識が蓄積されにくいなど、人材の集積や人材育成が進んでいない。このような背景の下、文部科学省では、研究開発評価の効率化及び質の向上に資するとともに、各機関における研究の推進や評価に関わる事務職員の質の向上を図る観点から、研究開発評価に関する基礎的な知識等の習得による、研究開発評価人材の育成を目的として、研究開発評価人材育成研修（初級）を実施する。

2. 対象者及び日程等

対象：大学、大学共同利用機関法人及び独立行政法人の研究開発評価に係る部署に所属し、研究開発評価の業務に1年から3年程度従事している事務職員（※）。

なお、平成29年度までの受講者は対象から除く。

（※）研究開発評価の業務とは、各機関における組織的な研究戦略の策定、戦略に基づいて実施される研究活動及び研究評価活動等に関連する業務を広く意味する。

（※）本研修は、研究開発評価の業務に関する、基礎的・体系的な知識等の習得や、実際の事例に係る情報共有をねらいとしたものであり、特定の評価手法等について専門的な研修を行うものではない。

（※）原則、係員～課長補佐クラスを対象とするが新任の課長等も可とする。

定員：40名程度

日程：平成30年11月27日（火）、28日（水）

場所：文部科学省15F特別会議室

平成30年度研究開発評価人材育成研修（初級）【日程表】（案）

時間	1日目（11月27日）	時間	2日目（11月28日）
会場	文部科学省	会場	文部科学省
13:00～ 13:05 (5分)	開会の挨拶 文部科学省科学技術・学術戦略官 工藤 雄之	10:00～ 11:00 (60分)	【講義⑤】 「ロジックモデルと大学・研究機関における課題点」 講師：小湊 卓夫(九州大学基幹教育院准教授) 栗本 英知(名古屋大学 教授 教養教育院 副院長・評価企画室副室長)
13:05～ 13:15 (5分)	【イントロダクション】 「本研修の概要と狙いについて」 文部科学省科学技術・学術戦略官 工藤雄之 or 科学技術・学術政策局企画評価課 課長補佐 國分 玲子（P）	11:00～ 14:40 (220分) ※途中、 休憩(60 分)を含 む	【ワークショップ②】 モデレーター：栗本先生 ファシリテーター：数名
13:15～ 14:00 (50分)	【講義①】 「科学技術イノベーション政策の最近の動向」 戦略官 or 課長補佐（P）		
14:00～ 15:00 (60分)	【講義②】 「研究開発評価の意義と枠組み」 講師：伊地知 寛博 (成城大学イノベーション学部長)		
休憩（5分）			
15:05～ 16:00 (55分)	【ワークショップ①】 「自己紹介と現場の課題点の共有」 モデレーター： 小湊 卓夫(九州大学基幹教育院准教授) 畷田 敏行(茨城大学全学教育機構准教授)		
休憩（10分）			
16:10～ 17:10 (60分)	【講義③】 「研究課題（プロジェクト）の評価」 講師：安藤 二香(科学技術振興機構 社会技術研 究開発センター アソシエイ トフェロー)	休憩（10分）	
休憩（5分）		14:50～ 15:20 (30分)	【全体講評】
17:15～ 18:15 (60分)	【講義④】 「大学・研究機関の評価」 講師：林 隆之(政策研究大学院大学政策研究科 教授)	15:20～ 15:30 (10分)	【修了証授与】
移動（5分）		15:30	解散
18:20～ 19:20 (60分)	情報交換会（講師出席）		

- ※1. 本日程は、10月時点での予定であり、今後、内容等について変更となる場合が御座います。
- ※2. 1日目のワークショップでは、自己紹介と現場の課題等の共有を行うことを予定しておりますので、研究開発評価に関して、現場で困っていること、個人的に抱えている悩み、他の人に聞いてみたいこと等をあらかじめまとめておいてください。
- ※3. 2日目のワークショップでは、ロジックモデルの作成を通じて研究開発評価において着目すべき基本的な観点等について学ぶことを予定しております。